

1 研究の主題

家庭・地域社会との連携を生かした学校経営の充実

2 趣旨

学校には、これまでも新たな課題に応じて、司書教諭、栄養教諭等の新しい職が導入されてきた。近年は、ますます複雑化・多様化する教育課題に対応するため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、部活動指導員等の教員以外の専門人材が導入されつつある。そのためこれからは、教職員間のより一層の組織的対応を強化することはもちろん、すべてを教職員が担う自己完結型の運営を廃し、これら専門人材との協働を推し進め、学校内の多様な人材がそれぞれの専門性を生かして能力を発揮するチームとしての学校を実現していくことが求められる。また、コミュニティ・スクール等の仕組みを活用するなど、チームとしての学校と地域の連携体制を整備していくことで、学校を核とした地域づくりを推進し、社会総がかりで教育を進めていくことも求められる。

こうした「チーム学校」の実現のため、校長は、これまでの教職員の管理を主とするマネジメントから脱却し、多様な専門人材を含めた学校組織全体の効果的な運営のためのマネジメントを進めていく必要がある。

3 研究の視点

- ① 教職員の専門性を高め、組織力を高める学校経営の在り方 (神奈川)
- ② チームとしての学校と地域の連携・協働体制の在り方 (新潟)
- ③ 外部人材と連携する専門性に基づくチーム体制の構築

4 役員名簿

役 職	氏 名	学 校 名
部 長	西 村 稔	越谷市立平方中学校
副 部 長	氏 家 勉	本庄市立東中学校
庶務・会計	小 堺 正 之	三郷市立栄中学校
司 会	岡 田 恒 芳	所沢市立上山口中学校
記 録	中 野 浩 義	川越市立初雁中学校
準備委員	福 島 弘 充	羽生市立南中学校

5 備考

- ・本会は、関ブロ「山梨大会 2023」で、分科会の提案・司会を担当する。
- ・この会は、全日中では、第8分科会に属する。

区	市町村名	学校名	氏名	備考	市町村名	学校名	氏名	備考
南 部	川口	西中	瀬山 真一		川口	戸塚中	松田 隆幸	
	川口	戸塚西中	中根 隆弘		戸田	美笹中	小高 剛	
	草加	栄中	今泉 正之		草加	川柳中	車 浩	
	志木	宗岡中	佐藤 哲浩		新座	第三中	和久井 功雄	
	上尾	大石南中	大澤 聡		上尾	南中	示野 浩生	
	鴻巣	鴻巣南中	初貝 博幸					
西 部	川越	初雁中	中野 浩義		川越	南古谷中	伊藤 博	
	所沢	三ヶ島中	豊澤 一美		所沢	上山口中	岡田 恒芳	
	飯能	奥武蔵中	岡野 民嗣		狭山	堀兼中	伊藤 真理子	
	富士見	水谷中	斉木 正一		三芳	三芳中	萩原 一夫	
	入間	豊岡中	中田 一平		入間	向原中	松本 武雄	
	坂戸	千代田中	矢島 彰		小川	東中	山本 高志	
	小川	檉台中	竹田 圭志					
北 部	秩父	高篠中	福島 剛		本庄	本庄東中	氏家 勉	○
	熊谷	吉岡中	井出 徹		熊谷	奈良中	新井 英和	
	深谷	岡部中	森田 豊					
東 部	行田	長野中	有山 博之		羽生	南中	福島 弘充	
	春日部	緑中	小林 孝之		蓮田	黒浜中	橋本 和人	
	越谷	平方中	西村 稔	◎	八潮	八潮中	佐藤 勝俊	
	久喜	久喜南中	中里 正		三郷	栄中	小堺 正之	
	白岡	篠津中	麻生 雅彦					

※備考欄：●1 ～ 9 関プロ神奈川大会参加分科会、●① ～ ⑧ 全日中和歌山大会参加分科会

※◎印は部長、○印は副部長

☆ 役割分担：5月の総会・分科会で分担を決める

	項目	区分	担当者名	学校名
1	部会代表参加者	神奈川大会 (9分科会)		
2	部会代表参加者	和歌山大会 (8分科会)		
3	埼玉大会2022	1 提案者	示野 浩生	上尾市立南中学校
		2 司会者	福島 剛	秩父市立高篠中学校
4	2月全体研究協議会	1 提案者	井出 徹	熊谷市立吉岡中学校
		2 司会者	岡田 恒芳	所沢市立上山口中学校
		3 記録者	中野 弘光	川越市立初雁中学校

※分科会まとめは、分科会の2つの提案の1つを任意に選んで、A4、一枚にまとめる。

※全日中大会の分科会は8つ、「条件整備」は第8分科会です。